

8) アメダス観測所について最低気温予報式の係数  $a_2$  と  $b_2$  を求めた。平野部では  $a_2=7 \text{ m s}^{-1}$  前後であるから、高度  $1 \text{ km}$  の風速が  $7 \text{ m s}^{-1}$  以上になる日の夜間冷却量は急激に小さくなる。

なお、本研究では完全快晴日でないデータも用いたので、算出された個々の係数には多少の誤差が含まれると思われる。精度のよい解析を行う場合は、現地で放射量の実測も行い、それを用いたデータ解析が望まれる。

#### 謝 辞

この研究を行うにあたり、仙台管区気象台の瀬良義郎

氏、瀬上哲秀氏ほかの方々には資料の提供にご便宜をはかって頂いたり、磁気テープのアメダス資料の取り出しをして頂いたので感謝いたします。

本研究は文部省科学研究費自然災害特別研究「作物被害の要因となる接地層の異常冷却の発生機構と量的予知に関する研究」の一環として行われたものである。

#### 文 献

近藤純正, 1982 a : 複雑地形の夜間冷却—研究の指針, 天気, 29, 935-949.

———, 1982 b : 大気境界層の科学 (気象学のプロムナード), 東京堂出版, 219 pp.

## 第22期第2回理事会議事録

日 時 昭和57年10月13日 17.30~19.00

場 所 札幌市教育文化会館

出席者 岸保, 荒井, 河村, 嶋村, 杉村, 竹内, 田宮,  
二宮, 増田, 松野, 村山 以上常任理事  
寺内, 菊地, 武田, 中島, 山元, 伊藤 以上理事

#### 議 題

##### 1. 昭和58年度第一次予算(案)について

嶋村理事から、予算書の編成内容について詳細な説明があった。

##### 2. 全国理事会のあり方について

各支部からあらかじめ議題を募集するなど、実のある討論が行われるようにしてゆきたい。

終わりに、寺内大会委員長から次の趣旨の挨拶があった。

当地での秋季大会の開催に当たり、多大なるご配慮を賜わり深く感謝している。3日間の大会を無事に済ませるよう役員一同努力したい。また小倉義光会員の特別講演の開催については、非常に感謝している。今後ともよろしくご援助をお願いしたい。